



自衛官の仕事

陸・海・空の3自衛隊の中でも最大規模の約15万1千人の定員を有し、その職種は16種類あります。また、それぞれの職種は、職種特有の専門的職域のほか、各職種に共通する職域を有しています。災害派遣や国際平和協力業務など、多種多様な役割を担う陸上自衛隊は、活力ある柔軟性に富んだ人材を求めています。(※陸上自衛隊では職域分野のことを職種といいます。)



普通科

地上戦闘の骨幹部隊として、機動力、火力、近接戦闘能力を有し作戦戦闘に決着をつける重要な役割を果たします。どんな地形も克服し、また気象や時期、場所などに左右されることなく自由に行動できます。迫撃砲、対戦車ミサイル、装甲戦闘車などに関する専門的な職域があります。



機甲科

戦車部隊と偵察部隊があります。戦車部隊は、装甲防護力、正確な火力および優れた機動力を発揮し、猛烈果敢な近接戦闘により敵を圧倒撃破します。偵察部隊は軽快に行動し、優れた通信、偵察、監視能力により情報を獲得します。戦車の操縦・整備、オートバイ偵察などに関する専門的な職域があります。



野戦特科

火力戦闘部隊として、大量の火力を随時随所に集中して広域な地域を制圧します。各種の火炮・ミサイル、測量、レーダーなどに関する専門的な職域があります。



高射特科

対空戦闘部隊として、航空機等に対し至短時間に有効な射撃を行うとともに、広範囲にわたり迅速かつ組織的な対空情報活動を行います。対空レーダー、各種の対空ミサイルなどに関する専門的な職域があります。



情報科

情報に関する専門技術や知識をもって、情報資料の収集・処理および地図・航空写真の配布を行い、各部隊を支援します。



航空科

対戦車ヘリコプター隊をもって航空火力戦闘を行うとともに、各種ヘリコプター等をもって航空偵察、部隊の空中機動、物資の輸送、指揮連絡等を実施して広く地上部隊を支援します。各種ヘリコプターの操縦・整備、航空管制などに関する専門的な職域があります。



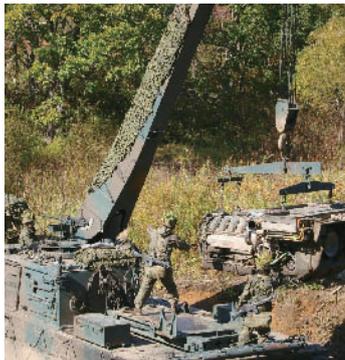
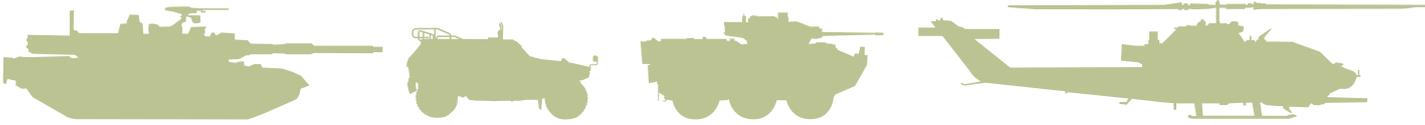
施設科

自走浮橋、ドーザー等の各種施設器材をもって障害の構成・処理、陣地の構築、渡河、交通、建設の諸作業を行うとともに、施設器材の補給、整備等を行います。各種施設機械の操作・整備、測量、橋梁などに関する専門的な職域があります。



通信科

各種通信電子器材をもって部隊間の指揮連絡のための通信の確保、資料自動処理組織の構成および電子戦の主要な部門を担当するとともに写真・映画の撮影処理、通信器材の補給・整備等を行います。各種の通信電子器材の操作・整備、暗号電信などに関する専門的な職域があります。



武器科

部隊の保有する火器、車両、誘導武器の補給・整備支援を行うとともに、弾薬の補給・保管・整備、不発弾処理等を行います。各種の火器、車両、誘導武器、弾薬の技術・整備などに関する専門的な職域があります。



需品科

糧食、燃料、被服、浄水セットや野外炊具等需品器材の補給、整備および回収、給水・入浴・洗濯等を行います。各種の需品器材の操作・整備、落下傘などに関する専門的な職域があります。



輸送科

大型車両等（40tトレーラーを含む）をもって部隊、戦車、重火器、各種補給品を輸送するとともに、輸送の統制、ターミナル業務、道路使用規制等を行います。輸送統制、輸送業務、輸送行動などに関する専門的な職域があります。



化学科

NBC偵察車、除染車等の各種化学器材をもって有毒化学剤、生物剤、放射性物質等で汚染された地域を偵察し、汚染された地域、人員・装備品等の除染を行うとともに、発煙・対焼夷等を行います。各種の化学器材・特殊武器防護器材の操作・整備などに関する専門的な職域があります。



警務科

警護、道路の交通統制、隊員の規律違反の防止、犯罪捜査など部内秩序の維持に寄与します。犯罪捜査、警護などに関する専門的な職域があります。第302保安警務中隊は、国家儀仗も行います。



会計科

隊員の給与、手当の計算・支払、あるいは部隊が必要とする物品、糧食の購入契約、調達等の業務を行います。会計、調達等に関する専門的な領域があります。



衛生科

患者の治療や医療施設への後送、隊員の健康管理、防疫および衛生資材等の補給整備等を行います。救急救命、臨床検査、歯科技工などに関する専門的な職域があります。



音楽科

音楽演奏を通じて、隊員の士気高揚を図るとともに、警務科部隊の援助を行います。また、演奏会の開催や地域のイベントへの協力を通じて、広報活動に寄与します。

自衛官の仕事

現在、約4万3千人の自衛官が、約50種類の職域で活躍しています。

海上自衛隊の最新の装備は世界でも高い水準にあり、これらの装備の能力をフルに発揮して、与えられた任務を効果的に達成するためには、ハイテク技術を身につけ縦横無尽に装備を駆使できるプロフェッショナルであることが要求されます。同時に、国際性豊かでスマートなシーマンシップが必要とされます。



射撃

艦艇に搭載されている対空・対艦ミサイルおよび速射砲などを操作し、攻撃してくる各種の目標を撃破して艦艇を防護します。また、これらのミサイルや砲を整備します。



水雷

護衛艦あるいは潜水艦に乗り組み、ソーナーなどによって敵の潜水艦を捜索します。発見した場合には、魚雷などの水中武器によって攻撃します。



機雷掃海

掃海艇に乗り組み、水路などに敷設された機雷を捜索します。発見した場合には処分し、味方の艦船の航行安全を図ります。また、機雷の調整や器材の保守整備を行います。



航海・船務

航海は、艦艇の艦橋において操舵装置などを操作し、艦の操縦に従事するとともに、発光信号などによって艦船間でメッセージを交換します。船務はレーダー・電波探知装置などを活用して、戦術活動を実施します。



潜水

潜水深度と仕事の内容によって「スクーバ潜水員」「水中処分員」「飽和潜水員」に大別され、艦底検査や錨調査などの簡単な作業から、深々度における潜水艦の救難作業まで、多岐にわたる業務を実施します。



機関

護衛艦が使用しているディーゼルエンジンやガスタービンエンジンを運転・監視するとともに、関連機械を保守・管理します。また、器材を用いて部品等を工作するほか、火災や浸水から艦を守ります。



航空

P-1、P-3C哨戒機、US-2救難飛行艇、SH-60K哨戒ヘリコプターなどに搭乗し、対潜哨戒、海難救助、あるいは輸送などの業務に従事します。



航空機整備

航空機に搭載されるエンジン、電子機器、操縦装置や翼などの機体部分、および魚雷やミサイルなどの武装を、最新の測定器とコンピュータを使用して点検・整備します。



航空管制

航空基地において、無線機やレーダーを用いて、離着陸する航空機または飛行場周辺を飛行する航空機を誘導し、安全を確保します。護衛艦等の管制員として勤務することもあります。



通信

艦船、陸上基地などにおいて、有・無線通信、暗号の作成・翻訳などの業務に従事します。また、これらの関連機材の整備を行い作戦行動を支援します。



施設

海上自衛隊の基地内の各種施設の維持・管理、あるいは施設器材を用いて施設の建設、道路の工事などを行い、基地機能を維持整備します。



気象・海洋

天気、気温、気圧などの気象観測および海水温度、海流、海底地形などの海洋観測を行い、データを分析、通報して航空機や艦船の作戦行動を支援します。



情報

衛星、インターネットなどのあらゆる情報手段を活用して情報を収集し、これを分析・評価・配布します。



経理・補給

隊員の給与、旅費などの計算・支給、あるいは艦艇、航空機などの燃料、武器・弾薬から衣食住に関する生活必需品までのあらゆる装備品を供給し、部隊を支援します。



衛生

艦艇あるいは陸上で勤務し、隊員の健康管理、環境・食品衛生などに関する業務、また患者の発生に際しては救急・救命に従事します。



音楽

音楽演奏を通じて隊員の士気高揚を図っています。また、儀式・式典など自衛隊の行事で音楽を演奏するとともに、演奏会の開催、イベントへの参加などを通じて広報活動や地域の活動に協力します。

その他 艦船整備、法務、警務、電計処理の職域もあります。



自衛官の仕事

現在、約4万3千人の自衛官が、30数種の職域で活躍しています。瞬時の判断・対応を要求される航空自衛隊にとっては、高度な技術を用いた装備品が不可欠であり、それらを駆使できるエキスパートが強く求められています。

また、国際平和協力業務支援のための航空機の海外運航など、航空自衛隊の活躍の場が広がり、より幅広い能力を持った人材が必要とされています。



飛行

戦闘機や輸送機、偵察機、早期警戒管制機、救難機、政府専用機などを操縦し、防空戦闘や情報収集、人員・物資の輸送・救難などを行います。また、輸送職域の一部の者は、輸送機等に搭乗し、機上で業務を行います。



航空管制

飛行場の管制塔などからレーダーや無線を使って、離着陸もしくは周辺を飛行する航空機の運航を管制する業務を行います。自衛隊の管制官は、国土交通省の管制官と同様の国家資格を取得し、同じ業務を行っています。



要撃(警戒)管制

昼夜を問わず領空を監視し、接近あるいは侵入してくる航空機を早期に発見・識別して、必要に応じて戦闘機などを誘導します。



高射

ペトリオットミサイルシステム等を操作し、航空機部隊や警戒管制部隊と協力して侵攻してくる航空機や弾道ミサイルを撃破します。また、これらのシステム、器材の整備を行います。



プログラム(電算機)

早期警戒システムや気象解析予報システムなど、航空自衛隊で用いるあらゆるコンピュータシステムの構築、プログラムの作成、保守などを行います。



気象

レーダーや目視による気象観測、各種気象データの収集・分析等から、信頼性の高い気象現況や気象予報等を関係部隊に提供し、飛行安全や部隊運用に寄与する業務を行います。予報官の中には、気象予報士の資格を取得している人もいます。



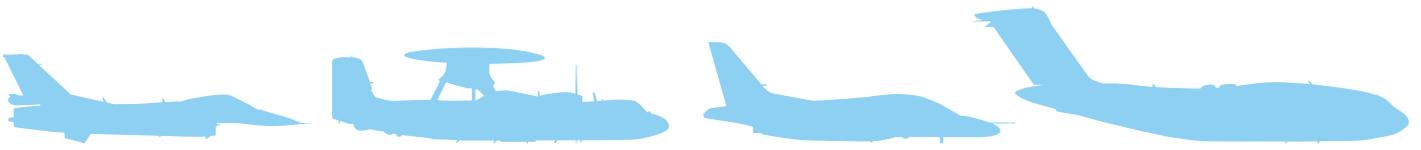
通信電子

航空管制、警戒管制などの地上レーダー、あるいは有線・無線通信器材など、航空基地やレーダーサイトなどで使用される通信電子器材の操作、整備などを行います。



武装

主に戦闘航空団に所属し、航空機で使用(搭載)されている武器弾薬等の管理、補給、保管、整備、あるいは搭載等を行います。



整備

航空機や車両等の点検整備を行う業務であり、航空機の機体やエンジンを受け持つ航空機整備、油圧・電機系統や計器等を受け持つ航空機装備品整備、無線機やレーダー機器を受け持つ無線レーダー整備、地上車両や動力器材等を受け持つ車両整備などがあります。



施設

基地内の滑走路、建物、電気、ボイラー、道路等の維持管理および航空機事故や建物の火災等非常時の消火、あるいは人命救助等を行います。



衛生

健康診断・身体検査など、隊員の健康管理を行うとともに、環境衛生、食品衛生検査を行います。また、救急救護に関する業務も行います。



警備

来訪者の受付をはじめとして、基地内入出者の監視等を行うほか、基地内を巡察、警戒して、基地の施設や物品等、あるいは隊員の安全を守ります。



音楽

音楽演奏を通じて隊員の士気の高揚を図るとともに、国家的行事に参加します。また、各種の演奏会を開催したり地域の行事などに参加して、自衛隊の広報も行います。



会計

給与・賞与・各種手当等を隊員に支払うための給与等計算業務、物品・糧食等を購入するための契約業務、あるいは物品等の代金を支払う出納業務等を行います。



調達・補給

航空機の部品から事務用品まで、航空自衛隊が使用する物品を調達して、準備、保管し、供給する業務を行います。



輸送

車両や、航空機でのあらゆる輸送の計画を行うとともに、車両を操縦し、人や貨物を輸送します。また、航空機での輸送にも携わります。

その他 宇宙、情報、隊務管理、教育、警務、法務、研究開発の職域もあります。